

一般質問



魅力ある仙北市にするには 伝建群武家屋敷保存の課題は 県道の危険対策を急げ

田口勝次

魅力ある仙北市にかかるとの諸問題について

質問 魅力に富んだ仙北市を実現する体制をどう構築していくのか。また魅力がなければ人は集まって来ない。仙北市に欠けている点は何か、市長の考えを伺いたい。

市長 行政、観光協会、市民が一体となって、仙北市の『良さ』を発信する体制が必要である。その為にも地区ごとの観光協会の連携が必要と考える。観光協会の一体化には固執しない。

行政の体制については共通の情報を持つて業務に取り組みよう改善していきたい。観光資源は豊富であるが、このままで良いとは考えていない。特に中心市街地の活性化、武家屋敷の保全、田沢湖畔の自然景観修景、高原の温泉等についてさらに取り組みが必要と考えている。

伝統的建造物群武家屋敷にかかるとの課題について

質問 武家屋敷は伝統的建造物群に指定されているが、個人所有の財産である。所有者の高齢化によって空家になったり貸家になったり。この現実が「商店街化」して

る所以だ。条例などの法の網をかけるにも限界がある。将来どうするのか、当面はこうするという考えを伺いたい。

質問 仙北市としては生活に活かしながら保存していくのを基本としている。生活者の権利を無視しての規制は出来ない。エリアとして保存する事に理解を求めながら将来の方向付けを行政として検討したい。当面の策については見直し、委員会の答申結果をもって対応したい。

仙北市の遊休施設について

質問 仙北市には遊休施設や遊休地が相当数ある。基本的な考えはいかに。特に旧角館図書館、そして東小・西長野小学校の今後の利活用について伺いたい。

教員 基本的には用途を精査し必要ない物は処分する考えである。東小と西長野小については種々のアイデア団体からの要望を引き継いでいるので、それをベースに、空校舎になってからというのではなくそれ以前に決論を出したい。

旧角館図書館は平成三十五年まで補助金の返還というしほりがあるが、引き続き、利活用方法を検討していきたい。

まちづくり交付金事業について

質問 まちづくり交付金事業の進捗はいかに。駅東の位置づけについての市の考えはいかに。市街地活性化のためNTT空地を求めるという案があるようだが、どのような考えかを伺いたい。

市長 十八年度事業の進捗状況は、軟弱地盤対策工事が残っている。用地買収については四名の方と交渉中という状況である。位置づけについては市街地と駅東を有機的に結びつけ、駅東地区からのJR利用可能となる事も視野に入れながらの整備でなければと考えている。NTT用地については検討中である。

危険な県道の諸課題について

質問 県道停車場広久内線上には菅沢踏切はじめ沢山の危険な箇所がある。管内で最も危険な路線である。新幹線開業以来この危険さの解消を求めて来たが、今だに具体的な取り組みがない。

議員 菅沢踏切及び県道の一方針や考え方を示さない現段階では仙北市としての方向付けは出来ない。しかし危険箇所改良については地域の協力を得ながら取り組みたい。神代第一幹線上の危険箇所の解消についても近日中には地権者との話し合いを進めたいと考えている。



冬期間は特に危険な菅沢踏切一帯